

製品名: ALS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06809**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	66kDa

抗原情報

遺伝子名	IGFALS
別名	IGFALS; ALS; Insulin-like growth factor-binding protein complex acid labile subunit; ALS
遺伝子 ID	3483.0
SwissProt ID	P35858
免疫原	抗血清はヒト IGFALS 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 303-352

背景

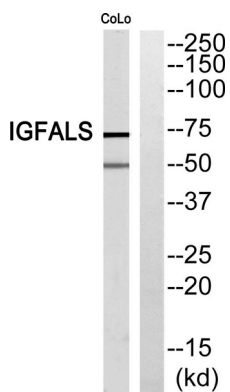
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インスリン様成長因子と結合し、それらの半減期と血管局在を延長させる血清タンパク質です。20個のロイシンリッチリピートを含むこのタンパク質の産生は、成長ホルモンによって刺激されます。この遺伝子の欠

陥は、酸不安定サブユニット欠損症の原因となり、思春期の遅延および緩徐化を引き起こします。この遺伝子には、2つの異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年3月]機能: タンパク質複合体、受容体-リガンド結合、または細胞接着につながるタンパク質間相互作用に関与します。類似性: 20個のLRR (ロイシンリッチ) リピートを含まれます。サブユニット: IGF-IまたはIGF-IIおよびIGFBP-3と約140~150 kDaの三元複合体を形成します。組織特異性: 血漿

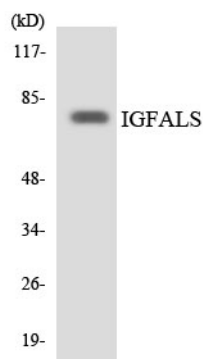
研究分野

-

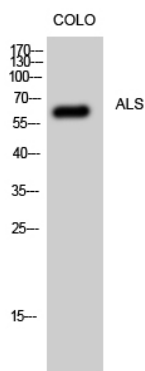
画像データ



IGFALS 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは IGFALS ペプチドでブロッキングされている。



IGFALS 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ALS ポリクローナル抗体を用いた CoLo 細胞のウェスタンブロット解析